

# 健全な内水面生態系復元等推進事業（拡充）

## 1 趣旨

内水面漁業は、四季折々の淡水魚介類の供給に加え、釣りなど自然とのふれあいの場の提供を通じ、潤いのある国民生活にとって重要な役割を果たしている。

しかしながら、河川・湖沼においては、都市化に伴う漁場環境の悪化やカワウ・外来魚による被害の拡大により、ウナギをはじめとして漁獲量が減少している。このため、内水面資源の放流等に係る技術開発やカワウ被害の防止等に係る漁業関係者の取組を促進することにより、内水面の水産資源の回復と淡水魚介類の安定供給を図る必要がある。

## 2 事業内容

### (1) 委託事業

#### ア 内水面資源生息環境改善手法開発事業（継続）

ウナギをはじめとした内水面魚種の棲み場所として必要な環境を維持した河川環境の造成を行うため、内水面魚種の分布状況及び生息環境の特徴といった基礎データの収集、天然水域における内水面魚種の行動を把握するための追跡調査を行う。

#### イ 放流用種苗育成手法開発事業（継続）

ウナギ等の内水面資源について、放流前に天然魚に近い状況での育成方法を行うことにより、放流後に再生産に寄与する放流資源の開発を行う。

#### ウ 外来魚抑制管理技術高度化事業（継続）

外来魚を抑制管理する手法について、残された課題として、深い場所等で産卵するオオクチバスの効果的な繁殖抑制技術及び電気ショック一法により対象外来種を効果的に駆除する技術を開発する。

### (2) 補助事業（新規）

地域間の広域的な連携による推進体制の整備やその下での広域的なカワウ・外来魚の生息状況調査、カワウ被害防止対策等の取組を支援する。

## 3 委託先及び事業実施主体

民間団体等

## 4 事業実施期間

委託事業 平成24年度～平成29年度

補助事業 平成26年度～平成30年度

## 5 平成26年度概算決定額（前年度予算額）

233,813（197,301）千円

## 6 補助率等

2の(1) 委託費

2の(2) 定額、1/2

## 7 担当課

水産庁栽培養殖課 03-3502-8489（直）

# 健全な内水面生態系復元等推進事業

平成26年度概算決定額：  
234百万円（197百万円）

ウナギをはじめとした内水面魚種の資源の回復等を図るため、内水面資源の生息に適した環境を維持した河川づくりを行うための調査や繁殖に繋がる放流用種苗の育成方法の開発を行うとともに、広域的なカワウ被害対策等の取組を支援。

補助対象：

- ① 生息環境の改善手法の調査
- ② 放流用種苗の育成方法の開発
- ③ 外来魚の繁殖抑制や効果的な駆除技術の開発
- ④ 広域的な連携の下でのカワウの生息状況調査、被害防止対策等の取組

補助率：

- ①～③ 委託費
- ④ 定額、1/2以内

事業実施主体：民間団体等

交付先(委託先)：国 ⇒ 民間団体等

その他：公募により実施主体を選定

河川・湖沼においては、都市化に伴う漁場環境の悪化やカワウ・外来魚による被害の拡大により、漁獲量が減少。

○河川環境の調査



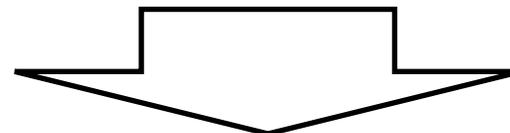
○広域的なカワウ被害防止対策



○外来魚の効果的な駆除技術の開発



○放流用種苗の育成方法の開発



内水面資源の回復と淡水魚介類の安定供給が図られる。